種名	キ　　リ Paulownia tomentosa 				
分類	落葉高木　ノウゼンカズラ科　キリ属	俗称	セキヤマ	別名	
分布	本州、九州、朝鮮(鬱陵島)				
形態	古くから各地によく栽培されている。自生状態のものもある。幹は生長が早く、直立して高さ8～15m、直径 30～50 cmになる。樹皮は灰白色で被目が多い。葉は対生し、長さ 10～20 cmの広卵形で、両面に粘り気のある毛が密生する。5月、枝先に大きな円錐花序を直立し、長さ5～6cmの紫色の花を多数つける。花冠は筒状鐘形で、先はくちびる状に裂ける。果は長さ約3cmの先のとがった卵形で、熟すと2裂し、翼のある小さな種子を多数だす。材は非常に良質で用途が広い。				
類似種					
生育場所					
繁殖					
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック					
その他					
用途	庭木、建築・家具・器具・楽器・彫刻材、下駄、薪炭				
引用文献：『山渓カラー名鑑　日本の樹木』を改変					